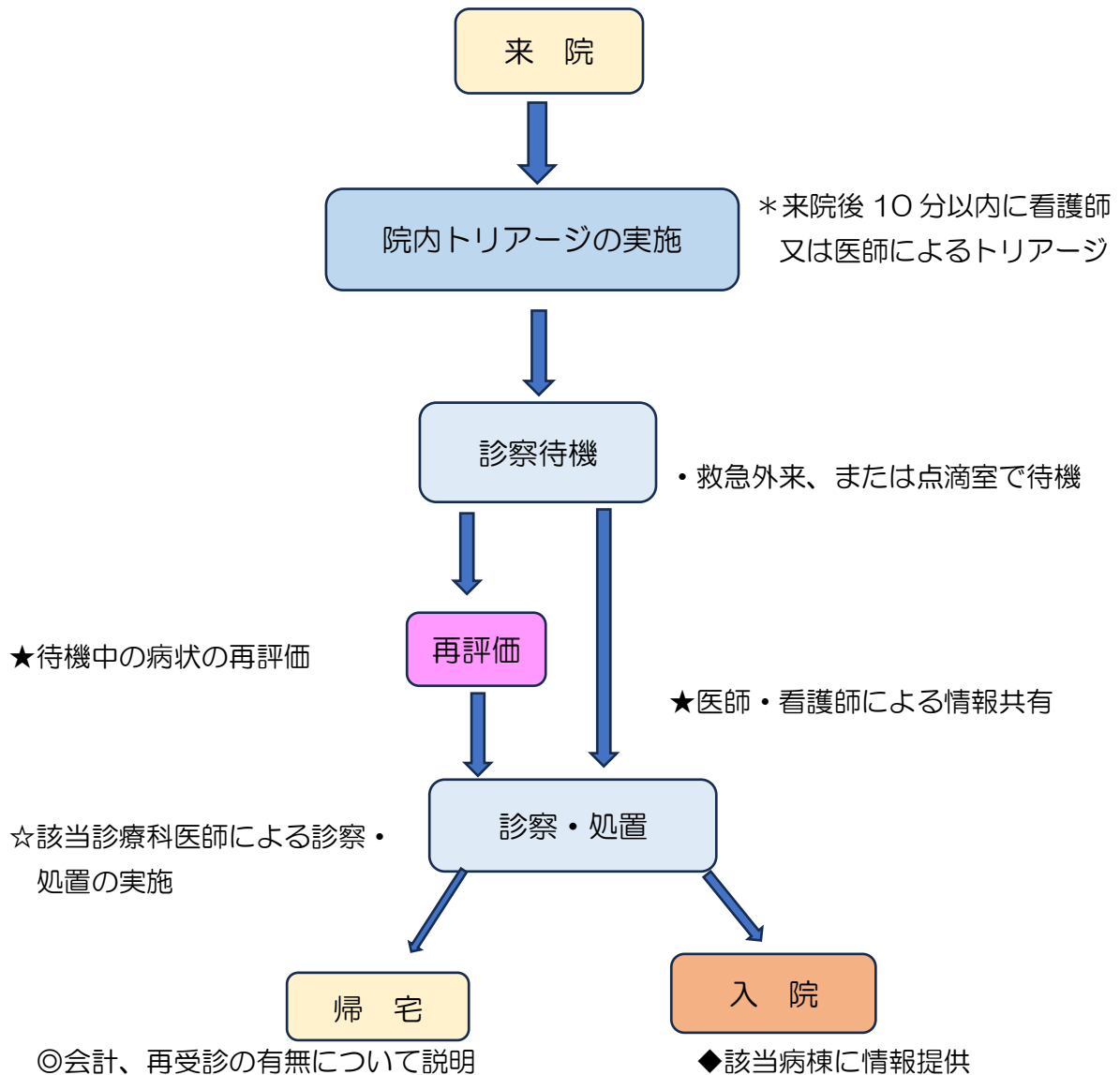


院内トリアージ実施基準

令和8年6月1日

当院は、夜間・休日、深夜において、受診された初診の患者さん（救急車搬送患者は除外）に対し、来院後、速やかに緊急性の必要性について判断した場合、診療に「院内トリアージ実施料」を算定させていただきます。救急外来で診療を行う患者さんに、看護師、または医師があらかじめ病状を確認させていただき、診療の優先度を決めさせていただきます。（院内トリアージと言います。）診療の順番は、来院された患者さんの緊急度や重症度によって決定するもので、受付をした順番で診療に繋がるとは限りません。従って、当日の患者さんの状況により、待ち時間が長くなる場合がありますので、ご了承ください。

【院内トリアージ、および診察の流れ】



【院内トリアージ分類および診療開始までの目安、又は再評価基準】

緊急度判定支援システム（Japan Triage and Acuity Scale：JTAS）

◆患者さんが来院され受付後に下記の基準に基づいて（緊急度判定）を看護師や医師が行います。

トリアージ （緊急度判定）		循環動態の 目安	酸素 飽和度	意識 レベル	体温	症状の具体例	診療開始又は 再評価迄の目安
レベルⅠ	蘇生	ショック	<90%	JCS2 桁 以上		心肺停止、重症外傷、 高度な意識障害、 重責痙攣	即座に診療 処置が必要
レベルⅡ	緊急	循環不全	<92%	JCS1 桁	38.5℃ 以上	心原性胸痛、背部痛、 心不全、激しい頭痛、 呼吸不全、重度の脱水 中等度の意識障害 アナフラキシー	15分以内 に診療
レベルⅢ	準緊急	正常の上限・ 下限内	92～ 94%	正常	38.5℃ 以上 体動困難	自覚症状のない高血圧、 痙攣後の意識障害、 痛みが強い骨折・脱臼 中等度の頭痛	30分以内 に診療
レベルⅣ	低緊急	VS 正常	>94%	正常	38.6℃ 以上 会話可能 体動可能	尿路感染症、上気道感染 軽度の外傷 軽度の呼吸不全	60分以内 に診療
レベルⅤ	非緊急	VS 正常	>94%	正常		通常診療に来院 検査・処方希望 軽度の外傷、	120分 以内に診療

【備考】上記のレベル表示の色分け

青色「レベル1」：即座に蘇生が必要

赤色「レベル2」：緊急に診療開始と治療が必要な重症患者

黄色「レベル3」：準緊急ではあるが、直ちに命に係わる状況ではない患者

緑色「レベル4」：低緊急ですぐに治療が必要ではない患者。

白色「レベル5」：非緊急で待機可能な患者

【トリアージを実施した場合の対応】

1. 患者搬送後、10分以内にトリアージを行い救急担当医、または当直医師に連絡をする。
2. トリアージを実施した場合は、必ず診療記録（看護記録を含む）に記載する。
3. トリアージ評価基準表に沿って評価を行い、待機時間中は再評価を実施し記録する。
4. 低緊急の場合でも、必ず再評価を行う。